

## 再評価を実施した事業

1 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 2件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
1	一般国道331号 <sup>トミグスク</sup> 豊見城道路 ( <sup>トミグスクン</sup> 豊見城市)	平成元年度 405億円	地域高規格道路である沖縄西海岸道路の一部として、『ハコ道路・2環状7放射道路』の一部を形成し、周辺地域の交通混雑緩和はもとより、県都・那覇市や那覇空港と県南部地域とのアクセスを強化し、『県南部地域の活性化』や『物流効率化』、さらには『観光交流』に寄与する。平成19年3月までに全線の暫定供用を完了。本年度から、豊崎交差点の立体化に着手。	未買収用地の取得を促進し、平成23年度の豊崎交差点立体化を図るとともに、早期の事業完了を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
2	一般国道331号 <sup>イトマン</sup> 糸満道路 ( <sup>イトマンシ</sup> 糸満市)	平成2年度 550億円	地域高規格道路である沖縄西海岸道路の一部として、『ハコ道路・2環状7放射道路』の一部を形成し、周辺地域の交通混雑緩和はもとより、県都・那覇市や那覇空港と県南部地域とのアクセスを強化し、『県南部地域の活性化』や『物流効率化』、さらには『観光交流』に寄与する。平成14年度までに、0.8kmを暫定供用。	工事を促進し、平成23年度の全線暫定供用を図るとともに、早期の事業完了を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

2 補助事業（沖縄県又は市町村）  
（道路） 14件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
3	一般国道331号 <sup>フタミ</sup> 二見バイパス ( <sup>ナゴシ</sup> 名護市) 【県事業】	平成2年度 100億円	本島北部東海岸地域の幹線道路であるが、幅員狭小・線形不良区間が多く、交通安全上危険な状況にあることから、バイパスを整備することにより、地域間の道路ネットワークを強化し、地域連携、産業振興に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
4	一般国道507号 <sup>ツカザン</sup> 津嘉山バイパス ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市～ <sup>ヤエセチヨウ</sup> 八重瀬町) 【県事業】	平成2年度 396億円	本島南部地域を縦貫する幹線道路であるが、幅員狭小・線形不良により、慢性的な交通渋滞が発生していることから、バイパスを整備することにより、交通渋滞の緩和と那覇空港・那覇港へのアクセス性向上に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成23年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
5	一般県道 <sup>コチンダ トミグスク</sup> 東風平豊見城線 ( <sup>トミグスク</sup> 豊見城市) 【県事業】	平成10年度 183億円	豊見城市豊崎地区と国道331号を結ぶ幹線道路であるが、周辺では慢性的な交通渋滞が発生していることから、本区間を整備することにより、地域間連携の強化、観光振興に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
6	市道 <sup>アハゴン シオセラ</sup> 阿波根潮平線 ( <sup>イトマンシ</sup> 糸満市) 【糸満市事業】	平成10年度 16億円	県道那覇糸満線と県道82号線を結び、地域の通勤通学路と生活道路として重要な道路であることから、本区間を整備することで地域の連携及び振興等に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
7	<sup>マアジ クモジ</sup> 真地久茂地線外1線(トンネル工区) ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市) 【県事業】	平成10年度 67億円	那覇市の中心部を通る幹線道路であるが、幅員狭小・線形不良により、慢性的な交通渋滞が発生していることから、本区間を整備することにより、交通渋滞の解消及びアクセス性向上、安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	工事を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
8	<sup>マアジ クモジ</sup> 真地久茂地線外1線(真地工区) ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市) 【県事業】	昭和63年度 35億円	那覇市の中心部を通る幹線道路であるが、幅員狭小・線形不良により、慢性的な交通渋滞が発生していることから、本区間を整備することにより、交通渋滞の解消及びアクセス性向上、安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	工事を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
9	県道153号線外1線 ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市) 【県事業】	平成10年度 77億円	那覇市から浦添市へ南北に縦断する幹線道路であるが、幅員狭小により慢性的な交通渋滞が発生していることから、本区間を整備することにより、交通渋滞の解消及びアクセス性向上、安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成24年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
10	<sup>シントシン マキシ</sup> 新都心牧志線外1線 ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市) 【県事業】	平成10年度 95億円	那覇市中心部と浦添市等を結ぶ幹線道路であるが、周辺では慢性的な交通渋滞が発生していることから、本区間を整備することにより、交通渋滞の解消及びアクセス性向上、安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	工事を促進し、平成20年度の暫定供用、平成21年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
11	<sup>イシミネ フクシ</sup> 石嶺福祉センター線 ( <sup>ナハシ</sup> 那覇市) 【那覇市事業】	平成10年度 23億円	<sup>トリホリ イシミネセン</sup> 市道鳥堀石嶺線と <sup>ギノワン ハエバルセン</sup> 県道宜野湾南風原線を結ぶ幹線道路であり、沿線には公共施設が近接していることから、本区間を整備することにより、円滑な交通の確保及びアクセス性向上に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成23年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

12	<small>ガイカクセン</small> <b>外廓線</b> <small>ナゴシ</small> <b>(名護市)</b> <small>ナゴシ</small> <b>【名護市事業】</b>	平成10年度 51億円	国道58号と県道名護宜野座線を結ぶ幹線道路であり、沿線には公共施設が位置していることから、本区間を整備することにより、円滑な交通の確保及び沿線の快適な都市環境の推進に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
13	<small>ウラソエミナミダイイチ</small> <b>浦添南第一土地区画整理事業</b> <small>ウラソエシ</small> <b>(浦添市)</b> <b>【浦添市事業】</b>	平成3年度 303億	那覇市周辺地域の市街地の拡大等により、急速な市街化が進む当該地区において、都市計画道路等の都市基盤を面的に整備することにより、健全な市街地形成を図り、地域振興に寄与する。	移転補償、保留地処分を促進し、早期の事業完了を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
14	<small>ウラソエミナミダイニ</small> <b>浦添南第二土地区画整理事業</b> <small>ウラソエシ</small> <b>(浦添市)</b> <b>【浦添市事業】</b>	平成3年度 273億	那覇市周辺地域の市街地の拡大等により、急速な市街化が進む当該地区において、都市計画道路等の都市基盤を面的に整備することにより、健全な市街地形成を図り、地域振興に寄与する。	移転補償を促進し、早期の事業完了を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
15	<small>ツカザンキタ</small> <b>津嘉山北土地区画整理事業</b> <small>ハエバルチョウ</small> <b>(南風原町)</b> <small>ハエバルチョウ</small> <b>【南風原町事業】</b>	平成4年度 265億円	那覇市への交通利便性が高く、無秩序な開発による住宅スプロールを防止し、都市計画道路や公園をはじめとする公共施設の整備改善と住宅の一体的造成を行い、住宅市街地の形成を図る。	移転補償、保留地処分を促進し、早期の事業完了を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
16	<small>イハ</small> <b>伊覇土地区画整理事業</b> <small>ヤエセチヨウ</small> <b>(八重瀬町)</b> <small>ヤエセチヨウ</small> <b>【八重瀬町事業】</b>	平成4年度 111億円	道路網が未整備で地形の起伏が激しいこと状況の中で、宅地開発が増加の傾向にあり、土地利用が混在のままスプロール化が進展している。当該地区において、公共施設の整備改善により良好で健全な市街地の形成を図る。	移転補償、区画道路等の整備を促進し、早期の事業完了を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。